



## はじめに

---

- [目的, i ページ](#)
- [対象読者, i ページ](#)
- [構成, ii ページ](#)
- [関連資料, ii ページ](#)
- [表記法, iii ページ](#)
- [その他の情報, iv ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要, iv ページ](#)

## 目的

『Cisco Unified Communications アプリケーション SAML SSO 導入ガイド』では、Security Assertion Markup Language のシングルサインオン (SAML SSO) ソリューションを有効にする方法について説明します。このソリューションにより、いずれかのアプリケーションにサインインした後に、管理者は定義された一連のシスコのコラボレーションアプリケーションにシームレスにアクセスできます。このマニュアルでは、SAML-based SSO ソリューションで使用できるさまざまなアプリケーションに加えて、ソリューションに対してユーザ認証を提供するサポートされた ID プロバイダ (IdP) について説明します。このマニュアルでは、特定のコラボレーションアプリケーションを設定するための、製品マニュアルへのリンクを示します。

## 対象読者

このマニュアルは、Cisco Unified Communications のさまざまなアプリケーションおよびサポートされる IdP 用の SAML-based SSO ソリューションの十分な知識があるシステム管理者を対象としています。このマニュアルでは、Network Time Protocol (NTP) および Domain Name System (DNS) のサーバ設定に関する知識も必要です。

# 構成

次の表に、このマニュアルの構成を示します。

章	説明
第 1 章	「SAML-based SSO ソリューション」 SAML-based SSO ソリューションがどのように動作するかのを概要を説明し、SAML SSO機能の設定と操作に関する一般的なトピックやコンポーネントについて説明します。また、基本的な設定フローやシステム要件についても詳しく説明します。
第 2 章	「SAML-based SSO の設定」 SAML SSO のさまざまな機能、および OpenAM SSO を SAML-based SSO ソリューションに再設定するプロセスについて説明します。

# 関連資料

SAML SSO ソリューションおよび設定の詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

- 『Cisco Unified Communications Manager Documentation Guide, Release 10.0(1)』
- 『Release Notes for Cisco Unified Communications Manager, Release 10.0(1)』
- 『Release Notes for Cisco Unified Communications Manager, Release 10.5(1)』
- 『Cisco Prime Collaboration 10.0 Assurance Guide - Advanced』
- 『Cisco Unified Communications Manager System Guide, Release 10.0(1)』
- 『Features and Services Guide for Cisco Unified Communications Manager, Release 10.0(1)』
- 『System Administration Guide for Cisco Unity Connection, Release 10.0(1)』
- 『Troubleshooting Guide for Cisco Unified Communications Manager, Release 10.0(1)』
- 『Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide, Release 10.0(1)』
- 『Troubleshooting Guide for Cisco Unity Connection, Release 10.0(1)』
- 『Quick Start Guide for the Cisco Unity Connection SAML SSO, Release 10.0(1)』



(注) 最新のマニュアルを入手するには、シスコ製品のマニュアルページにアクセスしてください。  
<https://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html>

## 表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	コマンドおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。
スクリーン フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、スクリーンフォントで表示されます。
太字の screen フォント	ユーザが入力する必要がある情報は、太字のスクリーンフォントで表示されます。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
<>	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。

(注) は、次のように表しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

ヒントは、次のように表しています。



ヒント 役立つ「ヒント」の意味です。

## その他の情報

マニュアルの入手方法、テクニカルサポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

## シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、[http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear\\_data.html](http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html) で参照できます。